

廃棄物自動計量IoTサービス



企業の体重計®

ごみ箱の下に置くだけ。

廃棄物を、改善できる経営データへ。

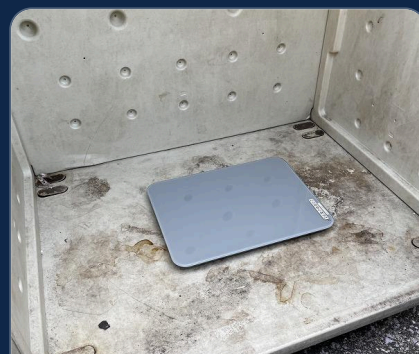
ごみ箱やダストボックスの下に計量器を設置し、廃棄物の重量を自動計量・クラウド管理するサービスです。拠点別・日別・月別の排出量が見える化し、分別改善、回収計画、処理費の見直し、SDGs・環境報告に活かせる状態をつくります。



計量器本体(薄型プレート型)



事務所のごみ箱の下へ設置



屋外ダストボックスへ設置

株式会社ケイ・システム

〒242-0028 神奈川県大和市桜森2丁目3-15 三井ビル101

TEL 046-259-6112 / FAX 046-259-6113 / info@ksystem.kanagawa.jp

CHALLENGE

廃棄物管理で、このような課題はありませんか？

廃棄物管理では、担当者が努力していても、重量データの集め方や集計方法が統一されていないことで、改善に使える数字が残らないケースがあります。

01

排出量が概算のまま

ごみ袋の数や回収回数、請求書などで管理しており、実際の重量や月ごとの変化が分からない。

02

拠点ごとの比較ができない

各拠点で集計方法やExcelの形式が異なり、排出量や回収頻度を同じ基準で比較できない。

03

集計に時間がかかる

紙やExcelから毎月転記し、集計するだけで担当者の時間が取られてしまう。

04

改善効果を説明しにくい

分別や廃棄物削減に取り組んでも、リサイクル率やCO₂削減量などを数字で社内外へ示しにくい。

必要なのは、集計作業を増やすことではありません。

現場の負担を増やさず、**同じ基準で廃棄物データが残る仕組み**です。

WHAT IS IT

置く。測る。ためる。活かす。

既存のごみ箱やダストボックスの下へ計量器を設置し、廃棄物の重量データをクラウドへ蓄積するIoTサービスです。人が毎回ばかりへ載せ替えるのではなく、普段どおりごみを入れる動作の中で計量します。



STEP 1

置く

既存のごみ箱・ダストボックスの下へ設置します。大がかりな設備変更は原則不要です。

STEP 2

測る

廃棄物の重量を自動計量します。現場で「はかる作業」を増やす必要はありません。

STEP 3

ためる

計量した重量データをクラウドへ蓄積します。PC・スマートフォンから確認できます。

STEP 4

活かす

排出量削減、分別改善、回収計画の見直し、環境報告へつなげます。

最初から全拠点へ導入する必要はありません。まずは**1拠点・1台**で計測し、データの使い方や改善テーマを確認してから展開する方法も可能です。

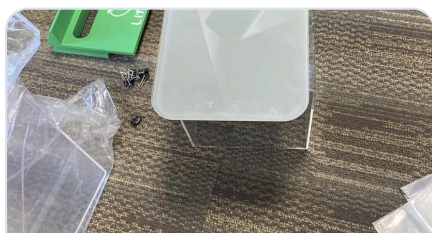
DIFFERENCE

「あとから集計」から、「日々データが残る」管理へ。

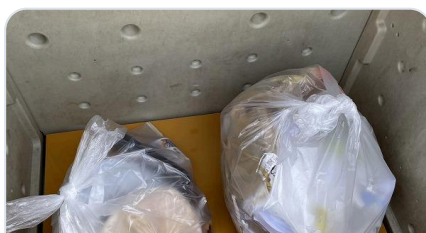
従来は、紙資料、請求書、Excelなどを後から集めて集計するケースが多く、担当者の負担や集計方法のばらつきが発生します。企業の体重計®では、ごみ箱の下で重量を取得し、継続的にデータを蓄積します。

比較項目	従来管理	企業の体重計®
排出量の把握	ごみ袋・請求書・紙資料から後で集計	ごみ箱の下で重量を計量しデータを蓄積
拠点比較	拠点ごとに形式・集計方法が異なる	同じ基準で日別・月別・拠点別に比較
集計負担	Excelへの転記・手計算	計量データを継続して蓄積
改善活動	感覚や概算から原因を検討	排出量・推移・拠点差を基に検討
環境報告	年1回の集計や概算に頼りやすい	蓄積データを説明資料へ活用しやすい

「はかる作業」を増やすのではなく、
普段の廃棄行動の中でデータを残す。



薄型プレート型の計量器本体



ごみ箱の底へ敷き、袋ごと計量



屋外の分別ステーションへ設置

DASHBOARD

自動で集めるだけでなく、比較・分析できる。

計量したデータは管理画面で確認し、グラフ・集計表・Excel形式の出力として活用できます。以下はいずれも説明用サンプル(架空データ)で、A拠点という1つのデータセットを各図で共有し、数値が互いに整合するようにしています。

説明用サンプル(架空データ)

日別・月別で確認

2026年5月 4.20 t



リサイクル率 74.0%

2026年6月 4.05 t



リサイクル率 76.5%

2026年7月 3.88 t



リサイクル率 78.0%

2026年8月 3.62 t

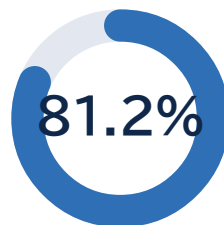


リサイクル率 81.2%

排出量の推移を同じ基準で並べ、増減のタイミングと改善の効果を月単位で追えます。

説明用サンプル(架空データ)

リサイクル率を見える化



対象期間 2026年8月

総排出量 3,620 kg

資源化量 2,940 kg

リサイクル率 81.2%

リサイクル率は「資源化量 ÷ 総排出量」で算出しています
(2,940 ÷ 3,620 = 81.2%)。

リサイクル率やCO₂削減量は、蓄積した計量データから自動で集計します。拠点名・廃棄物種類・集計単位をそろえておくことで、拠点間・期間間の比較がしやすくなります。

REPORT

集計結果は、そのまま報告資料へ。

計量結果はExcel形式で出力できます。拠点別・月次のレポートとしてまとめれば、社内報告や環境報告の説明資料に活用できます。以下はいずれも説明用サンプル(架空データ)です。

説明用サンプル(架空データ)

Excel形式で出力

月日	曜日	計量値 g	投函量 g
08月03日	月曜日	12,400	3,100
08月04日	火曜日	15,800	3,400
08月05日	水曜日	19,100	3,300
08月06日	木曜日	22,600	3,500
08月07日	金曜日	26,900	4,300
08月08日	土曜日	0	0

「計量値」はごみ箱に入っている総量、「投函量」はその日に増えた量です。08月08日に回収したため計量値が0に戻っています。

説明用サンプル(架空データ)

拠点別・月次で比較

項目	単位	5月	6月	7月	8月
廃棄物排出量	t	4.20	4.05	3.88	3.62
リサイクル率	%	74.0	76.5	78.0	81.2
焼却量	t	1.09	0.95	0.85	0.68
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1.18	1.09	0.97	0.85
評価	S~C	A	A	A	S

このサンプルでは、リサイクル率を次の4段階で表示しています。S:80%以上/A:65%以上80%未満/B:50%以上65%未満/C:50%未満。実際の判定基準は導入時に確認します。

掲載している図表はすべて説明用の架空データです。実際の画面デザイン、表示項目、出力形式は導入条件に応じて確認します。

FEATURES

廃棄物管理を、標準化しやすい仕組みへ。

廃棄物の種類や拠点ごとに管理の基準をそろえることで、比較できる状態・改善できる状態をつくれます。

複数デバイス管理

廃棄物や資源物の種類ごとに計量器を登録し、複数の体重計をまとめて管理できます。

廃棄物種類別の管理

可燃、不燃、資源物など、管理したい品目ごとにデータを整理できます。

下限値・回収判定

一定重量以下になったことなどを基準として、回収タイミングを管理する設定があります。実際に利用する設定・条件は導入時に確認します。

アラート・通知

排出状況の変化や回収タイミングを把握しやすく、次の対応につなげます。

レポート・データ出力

蓄積したデータを集計・出力し、社内報告や環境活動へ活用します。

拠点別・期間別の比較

拠点名・設置場所・廃棄物種類をそろえることで、同じ基準での比較がしやすくなります。

機能、設定内容、外部システムとの連携範囲は、**設置環境・契約内容・運用条件によって異なります。**

電子マニフェスト・JWNETとの関係について

計量データを電子マニフェスト運用や廃棄物管理へ活用する方法をご相談いただけます。ただし、自動連携の可否や範囲は、現在お使いのシステム、処理業者、拠点数、運用方法によって異なります。**自動連携を一律に保証するものではなく、実際の連携範囲は個別に確認・設計します。**

DEVICE

設置環境に合わせて選べる。

通信方式は2モデル。設置場所の通信状況やWi-Fi環境を確認したうえで選定します。

SIM内蔵

SIMモデル

計量器にSIMカードを搭載したモデルです。SIMカードの購入・設定は不要で、設置場所の通信状況を確認したうえで利用します。

- ・ お客様側でのSIM手配・設定が不要
- ・ Wi-Fi環境がない場所にも対応しやすい
- ・ 設置場所の通信状況は事前に確認します

Wi-Fi接続

LANモデル

お客様のWi-Fi環境へ接続して利用するモデルです。設置場所で安定して利用できるWi-Fi環境をご用意いただきます。

- ・ 1台あたりの月額はSIMモデルより低い設定
- ・ 設置場所に届く安定したWi-Fiが必要
- ・ 屋外・地下などは電波状況を事前に確認します

サイズラインナップ

設置するごみ箱・ダストボックスの大きさと、計量したい廃棄物に合わせてサイズを選定します。

A3

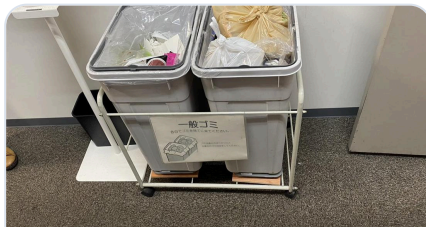
A4

A5

寸法・耐荷重・計測精度は、**設置するごみ箱と運用条件に合わせてご案内します**。計量したい廃棄物の種類と1回あたりの重量をお聞かせいただければ、適したサイズをご提案します。



屋外ダストボックスの底面へ



事務所内のごみ箱の下へ



廃棄物集積場へ（別現場の設置例）

ごみ箱の形状、床面、屋内外、電源、通信環境などによって設置方法が変わるため、導入前に確認します。計量精度、通信状況、利用可能な機能は、設置環境と個別条件を確認してご案内します。

OUTCOME

計測することが目的ではありません。

データを見て、改善するところまで。

企業の体重計®は、重量を測ること自体が目的ではありません。データを継続的に確認することで、廃棄物管理の改善テーマを見つけます。

分別改善

どの廃棄物がどれだけ出ているかを確認し、分別ルールを見直します。

排出量削減

月ごとの変化を見ながら、排出量削減の施策を検討します。

回収計画の見直し

排出量に応じて、回収頻度や運用方法を検討します。

処理費の見直し

排出量や品目構成を把握し、廃棄物処理全体を見直す材料にします。

SDGs・環境報告

継続して取得したデータを、環境活動やステークホルダーへの説明に活用します。

拠点差の把握

同じ基準で比べることで、改善が必要な拠点や時期を見つけやすくなります。

廃棄物データを、判断と説明に使える状態へ。

設置して終わりではなく、データの見方や月次の進め方までご相談いただけます。

※記載の活用方法は取り組みの例です。改善の内容や度合いは、設置環境、廃棄物の種類、運用方法、改善活動によって異なります。特定の効果を保証するものではありません。

CASE STUDY

さまざまな現場で、廃棄物を数字へ。

商業施設、自治体、大学、工場、事務所、飲食店、イベント・公共空間など、継続的に廃棄物量を把握したい現場で活用されています。

MAIN CASE | 商業施設・多店舗

ショッピングモールでリサイクル率9割を達成

総排出量

11%削減

リサイクル率

87% → 91%

当社の導入事例では、2019年度から2020年度にかけて総排出量が11%減少し、リサイクル率が87%から91%へ向上しました。計量するだけでなく、テナント会議で店舗ごとの排出データを共有し、改善策を検討・実行した結果です。

※特定の導入事例における成果であり、同様の効果を保証するものではありません。導入効果は、設置環境、廃棄物の種類、運用方法、改善活動によって異なります。



商業施設・多店舗

別現場の設置例

テナント別の排出量を比較

店舗別の排出量を比較し、分別ルールや回収方法を検討します。



メーカー・工場

廃棄物種類別に継続把握

種類別の重量を継続して把握し、環境活動・社内報告へ活用します。



自治体・公共施設

回収量を計測し施策を検証

分別ごとの回収量を計測し、設置場所や周知施策の改善材料にします。



大学・研究

教育・研究・SDGs活動で数値化

廃棄量を数値化し、実践的な教材としても活用されています。



飲食・サービス

店舗ごとの排出量を把握

複数店舗や廃棄物種類ごとの排出量を把握し、処理計画へつなげます。



イベント・公共空間

駅前回収BOX・イベント会場

一時的・公共的な回収拠点でも活用されています。

※社名・団体名を記載しているものは、公式サイトでの導入事例ページですすでに公表されている案件です。それ以外は匿名で記載しています。「別現場の設置例」と記載した写真は、当該事例そのものの写真ではありません。

PRICE

企業の体重計® 新料金

下記は2026年8月1日時点の料金マスタに基づく新料金です。株式会社ケイ・システムの表示料金は、すべて税別です。

基本料金

すべて税別

料金項目	料金(税別)	単位・条件
システム入会金	100,000円	初回のみ
月額クラウドシステム使用料	10,000円	月額・1契約
システム使用料	800円	月額・1事務所
端末セットアップ費用	800円	導入時・1台

月額費用の計算方法

$$\begin{array}{ccc} \text{月額クラウド} & + & \text{システム使用料} \\ 10,000\text{円} & & 800\text{円} \times \text{事務所数} \end{array} + \begin{array}{c} \text{端末月額} \\ \text{台数別単価} \times \text{台数} \end{array}$$

1事務所・1台で始める場合の目安

SIMモデル・1台

初期費用

100,800円

月額費用

12,800円

入会金100,000円+セットアップ800円。月額はクラウド10,000円+1事務所800円+端末2,000円です。

LANモデル・1台

初期費用

100,800円

月額費用

12,300円

入会金100,000円+セットアップ800円。月額はクラウド10,000円+1事務所800円+端末1,500円です。

※上記は新規1契約・1事務所・1台、端末区分1～49台の場合の税別試算です。設置条件、通信環境、台数、オプション、個別対応の内容により料金が変化する場合があります。

PRICE

端末 | 1台あたり月額(契約台数別)

端末の月額単価は契約台数によって変わります。表示料金はすべて税別、2026年8月1日時点の料金マスタに基づきます。

SIMモデル

2,000円～1,300円

契約台数	1台あたり月額
1～49台	2,000円
50～99台	1,900円
100～199台	1,800円
200～499台	1,700円
500～999台	1,600円
1,000～1,999台	1,500円
2,000～2,999台	1,400円
3,000台以上	1,300円

LANモデル

1,500円～800円

契約台数	1台あたり月額
1～49台	1,500円
50～99台	1,400円
100～199台	1,300円
200～499台	1,200円
500～999台	1,100円
1,000～1,999台	1,000円
2,000～2,999台	900円
3,000台以上	800円

料金についての注意

新料金は、料金ページ公開後の新規契約・新規見積りへ適用します。既存のお客様は、**締結済みの契約書・見積書に記載された条件を優先します**。設置場所、通信環境、台数、必要な支援範囲を確認したうえで正式なお見積りをご案内します。

自社の拠点数・台数での概算をご希望の場合は、おおよその拠点数と設置台数だけでも概算の考え方をご案内できます。お気軽にご相談ください。

FLOW & FAQ

設置して終わりではなく、改善につなげるところまで。

1

現状を確認

拠点数、設置候補、ごみ箱の形、廃棄物種類、現在の集計方法を確認します。

2

設置・通信環境を確認

屋内外、電源、Wi-Fiまたは通信状況を確認し、SIM・LANモデルを選定します。

3

管理項目を設計

拠点名、設置場所、廃棄物種類、集計単位など、比較に必要な項目をそろえます。

4

設置・計量開始

計量器を設置し、重量データが正しく記録・確認できるかを確認します。

5

データを改善へ活用

月次で排出量や拠点差を確認し、分別、回収頻度、処理費、環境報告へつなげます。

よくあるご質問

Q まず1拠点・1台から始められますか？

はい。まず1拠点で排出量を計測し、データの見方や改善テーマを確認した後、ほかの拠点へ展開する方法も可能です。

Q SIMモデルとLANモデルの違いは何ですか？

SIMモデルはSIMカードを搭載したモデルです。LANモデルはお客様のWi-Fi環境へ接続して使用します。設置環境や台数を確認して選定します。

Q 大がかりな設備変更は必要ですか？

既存のごみ箱やダストボックスを活用できるケースがあります。形状、床面、屋内外、電源、通信環境などを事前に確認します。

Q 電子マニフェストやJWNETとも連携できますか？

計量データを電子マニフェスト運用や廃棄物管理へ活用する方法をご相談いただけます。ただし、自動連携の可否や範囲は、現在のシステム、処理業者、拠点数、運用方法によって異なるため、個別に確認・設計します。一律に自動連携を保証するものではありません。

Q 相談前に何を準備すればよいですか？

おおよその拠点数、ごみ箱の大きさ、廃棄物種類、現在の集計方法などが分かるとスムーズです。整理できていなくても問題ありません。写真や現在の資料を確認しながら、一緒に整理します。

まずは、現在のごみ箱と 管理方法を教えてください。

「何台必要かわからない」「SIMとLANのどちらがよいかわからない」「まず1拠点で試したい」——その段階でも大丈夫です。現在の設置環境と、何を見える化したいのかから一緒に整理します。



株式会社ケイ・システム 代表取締役 小島 啓義

サービス提供責任者

産廃・解体業界で17万5,000枚を超える紙マニフェストに向き合った経験から、企業の体重計®、電子マニフェスト運用、紙マニフェスト管理、事務代行を通じて、現場を大きく変えずに続けられる仕組みづくりを支援しています。単に機器やシステムを導入するのではなく、紙・Excel・写真・LINEも活かしながら、次の状態をつくることを大切にしています。

入力できる状態

比較できる状態

改善できる状態

TEL

046-259-6112

E-MAIL

info@ksystem.kanagawa.jp

WEB

企業の体重計® 公式サービスページ

<https://ksystem.kanagawa.jp/service/taijyu/>

LINE

LINEで相談する

写真を送りながら相談できます <https://lin.ee/zhwbBT5>



企業の体重計®
公式サービスページ

<https://ksystem.kanagawa.jp/service/taijyu/>

廃棄物を「捨てて終わり」から、 改善に使えるデータへ。

株式会社ケイ・システム

〒242-0028 神奈川県大和市桜森2丁目3-15 三井ビル101

TEL 046-259-6112 / FAX 046-259-6113